

▼エトキシスクレロール1%注射液 [注]

【重要度】 【一般製剤名】ポリドカノール polidocanol 【分類】食道静脈瘤硬化剤

【単位】▼0.3g/V [30mL]

【常用量】1 穿刺あたり 1～3mL [1 治療あたり最大 30mL]

【用法】食道静脈瘤周囲に注入

【透析患者への投与方法】透析後、ヘパリンの影響が残っている患者では、血栓形成が抑制・阻害されるおそれがあるため禁忌 (1)

【保存期腎不全患者への投与方法】腎不全患者には慎重投与 (1)

【特徴】食道静脈瘤出血の止血及び食道静脈瘤の硬化退縮を目的とした経内視鏡的食道静脈瘤硬化療法に用いられる。静脈瘤周囲注入により、出血孔及び出血血液供給静脈を圧迫閉鎖すると共に、破綻部の血栓形成を促進し、食道静脈瘤からの急性出血を抑制。注入部位周囲に炎症反応に続く組織線維化が速やかに発現し、静脈瘤を硬化、退縮させる。

【主な副作用・毒性】ショック、DIC、貧血、菌血症、食道潰瘍、食道静脈瘤出血、肺炎、肺塞栓、好酸球増多など

【MW】約 600

【透析性】該当しない (5)

【更新日】20180403

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等で確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。